復興庁
Reconstruction Agency
復興・創生　その先へ

記者発表資料
令和８年１月１６日
復　興　庁

第５回「浜通り復興リビングラボ」シンポジウムを開催します！

復興庁では、浜通り地域等における生活環境向上のための実証事業に取り組む「浜通り復興リビングラボ」を、令和５年度から実施しています。この取組みは、福島国際研究教育機構（F-REI）、福島県等と連携しながら、民間企業等の最先端の知見や技術、ノウハウを活かして行う官民連携プログラムです。

本件に関連し、下記の通り、**第５回「浜通り復興リビングラボ」シンポジウム**を開催します（別紙参照）。本シンポジウムでは、実証事業の成果報告とともに、産官学の多様な観点から、リビングラボに参画する主体の拡大や連携強化に向けたご議論を頂くセッションを予定しています。シンポジウム開催前には、実証事業に関するポスターセッションも行います。浜通り地域等の復興に向けた取組にご関心のある多くの皆様のご参加をお待ちしています。

記

日時：令和８年２月１８日(水)　１４：００～１６：３０
（開場・ポスターセッション　１３：００～）
会場：CREVA おおくま　CREVA HALL（住所：福島県双葉郡大熊町大字下野上字大野 116-5）
※当日はライブ配信もします。配信リンク及び配布資料は、後日、あらかじめ復興庁ホームページに掲載します。
https://www.reconstruction.go.jp/topics/cat-11/cat-41/cat-136/20250912094909875O/

【お申し込み方法】

参加希望の方は、**令和８年２月１６日（月）１８時まで**に下記 URL または QR コードよりお申し込みください。定員に達した場合、締め切りさせていただくことがありますので、お早めにご登録ください。
https://forms.office.com/r/e4YAc3XvbT

●取材について

・取材を希望される場合は、取材される方の所属社名・氏名・連絡先（メールアドレス及び携帯電話の番号)、カメラ撮り希望の有無（有の場合はスチール or ムービー）を、２月４ 日（水）18 時までに以下事前登録用宛先にお送りください。

・当日は取材受付を設けさせていただきますので、取材される方は 13 時 45 分までに必ず受付をお願いします。入場者管理のため、入場者全員の名刺を受付にお渡しください。

・取材に当たっては、現地担当者の指示に従ってください。

・取材される方は、必ず社名入りの腕章を着用してください。腕章がない場合、警備の都合上、取材をお断りさせていただきます。

・取材に当たっては、現地担当者の指示に従ってください。

【事前登録用宛先・問合先】
復興庁 福島広域まちづくり班　　新田、荒木
TEL：03-6328-0246　E-MAIL：g.machi.v5f@fukko.go.jp

別紙１

復興庁

第５回「浜通り復興リビングラボ～サイエンス×官民共創まちづくり～」シンポジウム

プログラム（案）

日時：令和８年２月１８日（水）１４：００～１６：３０

（開場・ポスターセッション １３：００～）

会場：CREVA おおくま　CREVA HALL（住所：福島県双葉郡大熊町大字下野上字大野 116-5）

※オンラインでのご参加も可能です。

――次　第――

１　開会挨拶　政務予定

２　「浜通り復興リビングラボ」実証事業の成果報告

・全体概要・振り返り　復興庁 福島広域まちづくり班　参事官　山上 俊行

・事業成果

① 大日本印刷株式会社×相馬市、浪江町

② 大日本印刷株式会社×南相馬市

③ 株式会社フェイガー×広野町、浪江町

④ 株式会社 Agnavi×いわき市、川内村、浪江町

⑤ 株式会社 NTT データ経営研究所×いわき市

⑥ 首都高速道路株式会社、首都高技術株式会社、セーフィー株式会社×いわき市

・講評

福島大学 地域未来デザインセンター	特任准教授(復興創成担当) 相双地域支援サテライト長	藤室 玲治 氏
東京大学 先端科学技術研究センター	特任准教授	飯田 誠 氏

（休憩 10 分）

３　セッション「つながりを力に　リビングラボによる共創の広がり」

・パネリスト

大熊町	町長	吉田 淳 氏
株式会社フジタ 土木本部土木エンジニアリングセンター	CIM 推進部長	根岸 善徳 氏
東北大学 災害科学国際研究所	特任教授	御手洗 潤 氏
福島イノベーション・コースト構想推進機構	事務局長	植木 健司 氏
福島国際研究教育機構	理事長	山崎 光悦 氏

・モデレーター

東京大学 先端科学技術研究センター	准教授	近藤 早映 氏

４　閉会挨拶　復興庁　審議官　古橋 季良

別紙２

第５回「浜通り復興リビングラボ」シンポジウム
実証事業成果報告のコメンテーター及び
セッションのパネリスト・モデレーター　一覧

（令和８年１月１３日時点の確定者）

◆実証事業成果報告

コメンテーター

藤室　玲治　　氏

福島大学地域未来デザインセンター　特任准教授

神戸大学大学院総合人間科学研究科博士後期課程修了、博士（学術）。研究テーマは、行政区レベルの住民コミュニティ形成、防災と災害復興。また地域社会を題材としたサービス・ラーニングやボランティアプログラムの開発等。

コメンテーター

飯田　誠　　氏

東京大学先端科学技術研究センター　特任准教授

東京大学大学院工学系研究科博士後期課程修了。博士（工学）。先端研エネルギー国際安全保障機構にて、再エネに関わる研究開発に従事。同所地域共創リビングラボにて、いわき市との連携活動を含む地域の持続性について活動を展開。

◆セッション

パネリスト
吉田　淳　　氏
大熊町町長

1979 年より大熊町職員となり、生涯学習課長、教育総務課長、総務課長を歴任。
2016 年１月に大熊町副町長となり、2019 年 11 月より大熊町長に就任。2023 年 11 月に再選し、現在 2 期目。

パネリスト
根岸　善徳　　氏
株式会社フジタ　土木本部土木エンジニアリングセンター
CIM 推進部長

1989 年に株式会社フジタ工業（現・株式会社フジタ）に入社。ダム工事９作業所、トンネル工事３作業所に従事し、現場の豊富な経験を積む。その後、名古屋支店および大阪支店にて土木工事部長を歴任。
2024 年４月に、新設された CIM 推進部へ配属。CIM による図面モデリングやドローンを用いた点群測量など、デジタル技術を活用した全国の土木作業所支援に取り組んでいる。

パネリスト
御手洗　潤　　氏
東北大学災害科学国際研究所　特任教授

博士（工学）。在シンガポール日本大使館、内閣府（防災担当）、国土交通省都市局都市計画課開発企画調査室長、復興庁原災班参事官等を歴任。富岡町復興計画策定政策化会議副議長、川俣ふるさと大使等を務める他、各種研究・教育活動等で浜通りに関わる。

パネリスト
植木　健司　　氏
公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構
事務局長

東京工業大学大学院理工学研究科修士課程修了。大阪大学社会人博士課程在学中。
1999 年に通商産業省（現・経済産業省）入省以来、同省や関係府省・機関にて、技術・イノベーション、規制改革、まちづくりなどの政策分野に従事。2025 年 7 月から現職。NEDO イノベーション戦略センター（TSC）政策アドバイザーを兼務。

パネリスト
山崎　光悦　　氏
福島国際研究教育機構（エフレイ）　理事長

金沢大大学院工学研究科修士課程修了。工学博士(大阪大学)。
前金沢大学長。2023 年エフレイ初代理事長に就任。
文部科学省の「国際卓越研究大学の認定等に関する有識者会議」のアドバイザー、「地域中核・特色ある研究大学の振興に係る事業推進委員会」の委員長も務める。

モデレーター
近藤　早映　　氏
東京大学先端科学技術研究センター　准教授

東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻博士後期課程修了。博士（工学)。一級建築士、インテリアプランナー有資格。
主な研究テーマは、各種地域計画、保育施設とまち、リビングラボにおける共創スキームなど。

浜通り復興リビングラボ【令和７年度 実証事業】

令和７年度は９市町村にて12民間企業による10実証事業を実施

R6年度開始事業

【相馬市、浪江町×大日本印刷】
ドローンによる撮影やデータ分析等を活用した
獣害対策の支援

【南相馬市×大日本印刷】
服薬サービス事業（ドローンによる調剤配達・遠隔
地での服薬管理サポート）

【広野町、浪江町×フェイガー】
カーボンクレジットを活用した脱炭素型・
高収益稲作体系の検証と普及

【いわき市、川内村、浪江町×Agnavi】
日本酒一合缶による地域産品の発信

【いわき市×NTTデータ経営研究所】
自治体職員のまちづくりマネジメント力向上のための
研修プログラム開発

**【いわき市×首都高速道路、首都高技術、
セーフィー】**
道路パトロールシステムを活用したインフラ管理支援

R7年度開始事業

【いわき市、川俣町、浪江町×マスヒロ】
電動モビリティの二次交通としての有効性検証

【いわき市×ローテックメディカルジャパン】
ポータブルエコーとエクササイズを組み合わせた
フレイル予防プログラムの開発

**【いわき市、楢葉町、川内村、大熊町、
浪江町×コドモエナジー】**
電源を必要としない蓄光プレートを使った
獣害対策の支援

【浪江町×フジタ、ふたば】
ドローン・画像解析技術を活用した高線量下での
森林・林道管理の効率化

別紙３